



令和2年度 口腔ケア・嚥下リハビリチーム研修会

リハビリテーション科 加藤樹哉

テーマ：「口から食べるために症例を通して考えてみよう」

講師：はちのへファミリークリニック 高橋 瑞保 先生



はちのへファミリークリニックの高橋瑞保先生を講師に迎え、食事介助についての症例検討(グループワーク)と実技の研修会を開催しました。

まず KT バランスチャートの講義があり、次に提示された症例に実際に KT バランスチャートを記入し各グループで発表し、後半はベッドアップ座位と車椅子座位でのポジショニングと、改訂水飲みテストの実技を学びました。とても内容の濃い研修会となり、今回学んだことを摂食ケアの質の向上に向けて実践していこうと思いました。



さわらびキッズルーム 防犯訓練

院内保育所 さわらびキッズルーム 山岸晴香



8月末、今年もさわらびキッズルーム防犯訓練を行いました。今年は保育者が不審者役となり、自由遊び中に保育園に侵入しての時を想定して防犯訓練となりました。いつもと違う雰囲気には驚く姿も見られましたが、保育者のお話をしっかり聞いて、全員無事に避難することができました。もしものことがあった時、落ち着いて行動できるように防犯訓練・避難訓練をこまめに行い、安全に避難できるようにしていけたらと思います。





丹野事業管理者が「世界黒にんにくサミット」に出席しました

9月6日(日)、青森県黒にんにく協会(柏崎進一理事長)とNPO 法人黒にんにく国際会議(同理事長)主催「第5回世界黒にんにくサミット in 十和田 2020」が、新型コロナウイルス対策のため規模を縮小して開催され、当院の丹野管理者が出席いたしました。

同協会様よりは今年5月、新型コロナウイルス対応に当たる当院へ、黒にんにくを無償提供いただきお礼のメッセージを述べさせていただきました。当時の医療現場の様子をご報告するとともに、医療スタッフにとって黒にんにくによる応援が心身ともに有難かったこと、スタッフだけでなく入院している方々の体調管理に栄養価の高い黒にんにくを活用させていただいたことなどお話ししました。



現在、県内は落ち着いていますが、全国的には依然予断を許さない状況が続いています。いただいた温かい応援を励みとし、今後も職員一丸となり安心・安全な医療を提供できるよう努めて参ります。



「接遇研修会」開催

業務課 佐々木政人



9月10日(木)・11日(金)・18日(金)に、教育研修・接遇・広報委員会の主催で「接遇研修会」を開催しました。当初は10日・11日の2日間で1日4回の開催としておりましたが、参加者多数のため、18日を追加開催日としました。今回は「医療者にとって本当に必要な接遇とは」をテーマに、(株)学研のeラーニングの動画を視聴する形式としました。

「接遇には[目に見える形]が求められる」を基本として、笑顔、語先後礼、非言語的コミュニケーション、立ち居振る舞い、ペーシング、言葉づかい等についての講義があり、接遇について再確認するとともに、新たにすることもできた研修会となりました。

市民健やか
セミナー

『すこゼミ』は無料・予約不要で誰でも気軽に参加できる健康講座です。
1回参加ごとに「健康とわだポイントラリー」10ポイント!

10月の演題

「抗がん剤ってどんなくすりですか」

- 講師：看護局 がん化学療法看護認定看護師 小又 美重子
- 日時：10月22日(木) 午後4～5時
- 場所：当院別館2階講堂 ※昨年と会場が異なりますのでご注意ください。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>